

福島勉強会 カウントダウン企画！

前編

We ふくしま魅力探訪☆ Fukushima

11月12日(土)、コラッセ福島(福島市)多目的ホール(4F)を会場に、東北OM第8回勉強会in福島が開催されます。

7月の秋田に続き、いよいよ東北OM初の福島開催が迫る中、ニューズレターにおいても盛り上げていこうと思います！

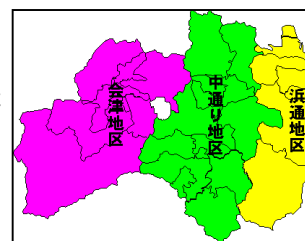
ということで、秋田勉強会に続く「福島の魅力」について、2回にわたりご紹介します。今月号では、前編としてOM福島メンバーの皆さんから福島市、伊達市の魅力をご紹介します。

まずは福島の基本情報をチェックしよう！

地形・気候・交通・歴史などの面から、太平洋と阿武隈高地に挟まれた「浜通り」、阿武隈高地と奥羽山脈に挟まれた「中通り」(以上、太平洋側)、奥羽山脈と越後山脈に挟まれた日本海側の「会津」の3地域に分けられます。

人口の大きな自治体は、人口順にいわき市、郡山市、福島市となっていますが、3市とも30万人前後です。3市はそれぞれの分野に特化し、行政機能が集中する福島市、経済・交通の中枢で、商業・内陸工業・流通都市となっている郡山市、広大な面積を持ち工業・観光に特化するいわき市となっています。

また、会津地方の中心都市で、史跡旧跡が多く存在する歴史都市会津若松市も3都市に比べ小規模ながら重要な地点となっています。(Wikipedia参照)



中通り 伊達 織りなす未来 ひとつの心 ～伊達市の魅力～

レポーター 伊達市役所 山田 昌史さん

祭 復興への願いを胸に 山車の競演！～だてな復魂祭～

伊達市は、福島県の北部に位置し、平成18年1月1日に隣接する5町(伊達・梁川・保原・霊山・月舘)が合併して誕生しました。県都である福島市の北東に隣接しています。

今年は、伊達市が誕生して5年目にあたることから、伊達誕生5周年を記念するとともに、震災からの復興を願って、市内各地域からの山車が競演するなどのイベント、「だてな復魂祭」を開催いたしました。

現在、原発事故で放出された放射性物質の影響から安心を取り戻すため、放射性物質を取り除く「除染」に積極的に取り組んでいるところです。



祭 雷鳴のごとく大地を揺るがす"同時打ち"は圧巻！

～霊山太鼓まつり～

町内各地には、60組を超える太鼓保存会があり、その数の多さからみても、先人達の次代への伝承する姿勢や、祭りに対する熱狂がうかがえ、その気質は現在に引き継がれています。

毎年開催されている『霊山太鼓まつり』には、数多くの太鼓が集結し、祭り当日は、朝から夜まで太鼓一色。霊峰・霊山の麓に太鼓の音が響き渡ります。

中でも総勢700名の打ち手が一斉に打ち鳴らす圧巻の"同時打ち"は勇壮華麗であり、雷鳴のごとく大地をゆるがす様は観衆の心をとらえ、感動を与える一大イベントとなっています。

今年は原発事故の影響で中止を余儀なくされましたが、来年こそは・・・！



祭 五穀豊穡・商売繁盛・無病息災を祈願！～大俵引き～

つつこ

福島県の十大奇祭にも数えられているこのお祭り。市内中心部近くにある厳島神社に伝わるお祭りで、毎年3月の第一日曜日に開催されます。

江戸時代中期、享保年間に大飢饉があった際に、当時の領主が種もみを分け与えて、翌年は豊作となったため、領主に感謝して豊作を祝ったのが起源とされています。当日は、直径約1.5メートル・長さ約3メートル・重さ800キログラムの大俵(つつこ)を、3方に分かれて引き合い、その年の「五穀豊穡・商売繁盛・無病息災」を祈ります。つつこの引き手には、県外からも申し込みがあります。





イベント 全国ランニング100選にも選ばれるマラソン大会！ ～伊達ももの里マラソン大会～

OMのメーリングでも後藤さんからご紹介いただいたこの大会。
マラソン…とは言っても、最長で10km。ハーフやフルマラソンではありません。
この大会は、6年連続で全国ランニング大会100選に選ばれている大会で、毎年全国各地から多くの皆さまに訪れていただいております。
ももの里のネーミングのとおり、参加賞や抽選により、特産の“もも”が贈呈されます。



歴史 霊山～南北朝動乱の時代の面影を残す遺構～

阿武隈山系のゆるやかな稜線の中にそそり立つ奇岩怪石は、ひとさわ威容を誇り、四季折々の表情を見せる山の景色は、毎年多くの登山者を惹きつけています。

霊山は、貞観元年(859年)山形の山寺でも有名な、慈覚大師円仁の開山と伝えられ、霊山という名前は、釈迦が修行したインドの霊鷲山になぞらえて命名されました。最盛期には、峰々に3,600もの僧坊を数え、470年余の間、東北山岳仏教の一大中心地として栄えたとわれています。

14世紀、足利尊氏と後醍醐天皇が対立した南北朝動乱の時代、建物はすべて焼失したとされていますが、現在でも礎石などの遺構が残り、当時の面影が感じられます。

歴史 伊達政宗 初陣の戦勝祈願された神社！～梁川八幡宮～

梁川八幡宮は、伊達政宗が初陣の際に戦勝祈願に訪れた神社で、伊達氏が梁川城を本拠としていた時代には、伊達氏の総鎮守でした。

現在は礎石のみが残る三重塔は、奥州平泉・藤原秀衡の建立したとの伝えがあります。



伊達家発祥の地！～高子ヶ岡館跡～

独眼竜政宗で有名な伊達家の初代・朝宗が城館を構えたことから、伊達氏発祥の地として伝えられています。桃畑に囲まれた小高い山には、現在もひっそりと神社が鎮座し、春の頂上からの眺めは、咲き誇る桃の花で一面が桃色に彩られます。



特産品 目でも楽しむことができる“あんぽ柿”

伊達市の特産品と言えば…何といっても“くだもの”

伊達市は福島県を代表する果樹栽培地域です。いちごに始まり、さくらんぼ、もも、ぶどう、柿、りんごと四季を通じて様々な果物が生産されています。中でも、柿を加工した透き通るようなアメ色の“あんぽ柿”は、市内梁川町五十沢地区が発祥の地で全国一の生産量を誇ります。

あんぽ柿は、食べておいしいのはもちろんですが、その製造過程で柿を干す様子がとても美しく、目でも楽しむことができます。

慶長年間から伝承された製法で考案された“入金真綿”

真綿＝シルク。伊達市は、古くから養蚕が盛んで、入金真綿は、今から約400年前の慶長年間の頃に製法が考案されました。高級絹織物の本場結城紬の原料にもなっているものです。

繊維のダイヤモンド！～天蚕～

天蚕は、日本原産のヤママユガの野蚕で、その繭からとれた糸で織られた布は、天然の萌黄色の輝きと丈夫さから“繊維のダイヤモンド”と称され珍重されています。

一見、着色したのでは？と感じられますが、天然の美しい色合いです。今後、いろいろな可能性を秘めた素材です。



オススメ 個性ある3種類の焼酎をチェック！

伊達市には、個性のある焼酎が3種類あります。

その一、イモはイモでも、“じゃがいも”の焼酎、浪漫倶楽部。

その二、雑穀の一種、“モロコシ”を使った、あっさりとした飲み口の良い焼酎、白根万歳。
(※トウモロコシではありません)

その三、紫しそを使用した、香り高くさっぱりした後味の焼酎、しそ乙女。

それぞれに特色のある個性的な味わいです。ぜひ飲み比べてみてください！残念ながら、原発事故による放射線の影響で、今年はこのうちの一銘柄“しそ乙女”は製造を見合わせたとのこと…残念です!!

←写真は、浪漫倶楽部と白根万歳、そして、しそ乙女の代わりといっはなんですが、伊達市唯一の日本酒“みちのく霊山”。こちらもおすすめです。



中通り 福島市の魅力を体いっばいに感じよう！～サイクリング編～

レポーター 福島市役所 菅野 玄徳さん

◇無燃費！健康にテキメン！ずばりサイクリングの旅！

今回、私がご紹介したいのは、福島市の魅力である果物と三つの温泉を同時に満喫できる欲張りな方法です。しかも、近頃流行の低燃費で！

いや、無燃費！そして健康にも抜群の効果！

ずばり、サイクリングです。ママチャリではなく、風を切って走るロードバイクで行くことをオススメします。

◇春・夏・秋、季節の香りに包まれるフルーツライン

飯坂温泉からフルーツライン(県道5号線)へ入ると、春は鮮やかなピンクのモモの花。夏はもちろんモモ、秋にかけてはナシ・ブドウ、それらが日々大きく、そして綺麗に色づいていきます。畑からはそれぞれの果物のかすかな匂いが、季節の匂いと一緒にサイクリストの全身を包んでくれます。

早朝はスプレーから噴射される消毒液が全身を包んでくれることもしばしばですが、それはご愛敬。

◇自然の美しさを実感する抜群のロケーション！

フルーツラインから広域農道ヘルートを変えると、今度は田んぼが広がります。

夏に一瞬咲くイネの小さく白い花、朝日を浴びて朱色に染まる雄大な吾妻連峰を見上げては、自然が生み出す色の美しさを改めて痛感します。

広域農道の途中、右へ上がって行けばそこは高湯温泉。少し登るだけで、硫黄の匂いが早くも鼻をつきます。登り口から、秋に美しい紅葉が見られるスカイラインまで、自転車で約30分。ちょうどよい運動になります。



◇旅の終点 土湯温泉郷

再び広域農道を土湯へ向かって南下すると、高湯の登りで火照った身体を、杉林からのひんやりとした空気が快く受け止めてくれます。

さらに南下を続け、牧場が見えれば今回の旅もそろそろ終点。全力で緩い坂を駆け上がれば、そこは土湯温泉郷。ここまで、およそ1時間半。車では感じられないちょっとした感動をたくさん浴びて、自転車の旅は終了です。

百聞は一見に如かず。こんな下手くそな文章を読む暇があるのであれば、是非一緒にサイクリングで感動を分かち合いましょう！

ちなみに、私は自転車始めて4ヶ月で体重が5キロ落ち、メタボ脱却しました。去年精密検査を受けさせられた健康診断も、今年は何もなし！ね、健康にもテキメンの効果あります！



ready?

第8回OM勉強会

in ふくしま



東北

日時 11月12日(Sat)～13日(Sun)

会場 コラッセ福島 4F 多目的ホール

テーマ 『震災後の福島を振り返り、

勉強会の概要

"いま"と"これから"を考える』

福島県は大きく「会津」「中通り」「浜通り」と縦に分割した3つの地域に分かれています。まさしく風評被害に直面している会津、地震、低線量の放射線、そして風評被害に苦しむ中通り、そして、地震、津波、放射線、第一原発に苦しむ浜通りです。

福島勉強会では、この厳しい状況の中、それぞれの地域で、福島県を元気にするために活動されている方々にお越しいただき、福島の「現在」と「未来」を語っていただきます。その後、参加者皆さんによるワークショップにおいて、福島の未来を通して、一人ひとりに我がふるさとの未来を考えていただく機会を提供できればと考えております。

Pray for Tohoku

“想い”を“行動”へ！

Nothing beats Fukushima, does it?

いま 福島は絶対負けない！
～南相馬市の現在とこれから～

レポーター 福島県南相馬市役所 福島 勉 さん

福島県南相馬市新人職員の福島勉です。

子どものころから文章を書くのを大の苦手としてきた僕ですが、ボランティアをやっているときに取材にきたマスコミなどに『被災地から情報発信することが大事だ』とか偉そうなことを抜かしていたので、その責任を取って僕も頑張ってみようかと思います。

◇着実に歩み始めている復旧・復興への動き

福島県南相馬市は現在、復興ビジョンの策定が済み、それを基にした復興計画の策定に向けて準備をしている段階です。また、仮設住宅に関しては、1600戸の入居が済み(空きはありますが)、新たに500戸を建設しているところです。

街に目を移せば少しずつ活気を取り戻しつつあり、警戒区域(20km圏内)の商店も仮設住宅がある地区に仮設の商店を建設し始めるなど復旧・復興に向けて歩み始めているところです。

◇基準区域を境界に対立する市民・食い違う意見…垣間見える合併の弊害 ～今、南相馬が抱えている問題～

今回はそんな南相馬が抱えている問題を皆さんに知っていただけたらと思います。

もともと平成18年に北から鹿島町、原町市、小高町が合併してできた南相馬市ですが、問題の発端は、警戒区域(20km圏内)と緊急時避難準備区域(30km圏内)の境界線が合併前の自治体の境界線とほぼ重なっている事なのです。合併前の自治体ごとに市民の立場が違うという事態は、義援金や東電の補償を巡っての市民の対立や、復興に向けた一体感の欠如をもたらしています。

以下に例を挙げると、30km圏内の住民は30km圏外の住民と補償などの内容が大差ないことに不満を感じる一方、30km圏外の住民は、区域内の住民から補償などのことに関して不満を抱かれている事に反発しています。また、復興計画に目を移せば、20km圏外の住民は出来るところから復興に取り組むべきだと主張する一方、20km圏内の住民は置き去りにされる事に不安を抱き、20km圏内の復旧が最優先だと主張しています。

このように、ある事では30kmの中と外で対立し、また別のことで20kmの中と外で意見が食い違うなど、復興に向けて市民が一丸となるには程遠いのが現状です。

南相馬市としては、市民が互いの立場違いを理解し、この対立状態を解消することが復興に向けた一番の近道となると考えています。



◇公務員としてのバランス感覚の重要性を痛感する半年間 ～直面する市民対応と取り巻く制度・業務とのバランス～

ここからは、少しだけ僕自身のことを。

大震災からの半年間はたくさんのことがありました。避難、採用延期、避難所での1ヶ月のボランティア、5月に働き始めてからも新人研修はなく、すべてOJT、また最初の2ヶ月は仮の配属だったので、既に2つ目の部署で働いているという、通常ではありえないイレギュラーな社会人生活のスタートを切りました。

そんな半年間で一番感じたのは『公務員としてのバランス感覚の重要性』でした。避難所でボランティアをしていたとき、市の職員は「避難者(市民)の自立を促さないといけない」と言い、事務所からほとんど出ませんでした。

最初は只々、避難所担当職員に憤慨していた僕ですが、5月に市役所職員となり、義援金や二次避難に関する業務で市民の要望を聞く機会が増えるようになると、市民への対応の仕方と制度や業務とのバランスのとり方に悩む機会が増えてきました。

確かに先ほどの避難所担当職員のやり方は間違っている(避難所ごとに事情があるので一概には言えませんが、少なくとも僕がいた避難所では)と思いますが、この市民への対応と制度・業務とのバランス、言い換えれば制度・業務上の限界内でいかに市民の要望に応えるかということは、僕が退職するまで付きまとう課題だと思うので、このことについてOMの緒先輩方に今後の勉強会でアドバイスをいただけたらなと考えています。

◇出演者・観客、すべてが一体となった大合唱に感動！ ～野外フェス『風とロックSUPER野馬追』～

最後になりますが、先日、『風とロックSUPER野馬追』という福島限定野外フェスの相馬会場に行ってきました。

そこは、ほんとに小さな会場でしたが、小さな子どもからお年寄りまで来ていて、物凄い一体感でした。最後の曲を出演者、観客全員で大合唱したときには、福島は、相馬は死んでないと思いました。

Nothing beats Fukushima, does it? 福島は負けません！！

LIVE
福島
FUKUSHIMA
風とロックSUPER野馬追
2011.9.14-19

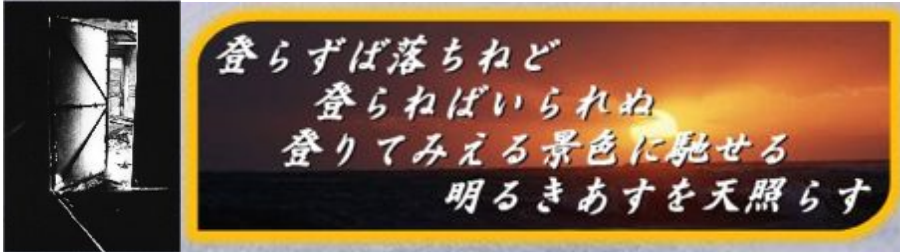
木の実☆あつめ

メンバーの知られざる趣味や特技、活動などへの思い、そんな素敵な“木の実”を紹介します。
色も形も違う色んな木の実をあなたの心のポケットに・・・

産・学・官・民 協働・連携を推進できる

地域力共創のコンセプターを目指して！

(有)SKソリューションズ 黒沼 貞志 さん



◆東北OMへ関わることになった経緯

東北OMのメンバー＆運営委員になるきっかけは発起人の後藤氏からの問合せでした。

山形市内で地域活動に関わる団体として地方紙の紹介でお会いしました。その後、小職が主宰する「One Coin 地域力 カフェ」「Yamagata 地域力 ステーション(FM放送の番組)」などで、東北OMの紹介をする過程で東北OMの立ち上げ時期から民間の立場で関わっています。

◆企業人からUターンし、 ソリューション・コラボレーターへ・・・

30年の企業における業務経験で培った『ソリューション(課題解決)能力』『プロジェクト・マネジメント(事業遂行管理)能力』を提供しながら、地域の自立と蘇生(ローカライゼーション)の必要機能である「産・学・官・民」協働・連携を推進できる**地域力共創**のコンセプターを目指しておりまだその道半ばです。

Uターン間もない頃の自身の立ち位置を表現した原稿(ご参考)：

http://www.sk-solutions.org/pdf/syogin_kro.pdf

現在はビジネス領域を減らしつつ右記に記載の幾つかのコンソーシアムを運営しながら地域力共創の**コンセプター**業務に注力しています。

◆立ち位置をビジネスから 地域力(地域社会を変える力)共創の場へ・・・

Uターンして12年、産・学・官・民の業務に関わりながら地域社会を変える力としての「**地域力**」というキーワードに辿りつき、その関連領域の相関とその共創のためのリソースとコンピタンスを右の記載のように規定しています。

◆My Project: 「PM手法を山形で広める」の実践！

私たちが大事なテーマの実現に直面した場合、情報収集などの必要条件のクリアはもちろんですが自分や関係者が保有するスキル・ツールの総動員が必要になります。しかし、それらを系統立てて実施できるレベル(充分条件)までに至っていない場合、私たちはその先のアクション(「明日から具体的に何をするか」)の段階で難儀する場面にしばしば遭遇します。

この充分条件の確保には必要条件とは違った対応が必要になるという考えの下、自身のテーマ(プロジェクト)「PM手法を山形で広める」と位置付けて、平成17年以降に様々な場面でトライしてきております。そして、こういうことは地道にこつこつと続けることしかないと考えています。

これまでの**PM手法演習WSの実績件数**は、産・学・官・民領域を通じて、平成16年～22年の約7年間で15件、1件あたり3～4回のWSを実施し、その参加者数は約250人を超えています。それが多いのか少ないのかは分かりませんが、一般の方々に課題解決の方法としてのPM手法を実践する機会の提供には役立っていると思っています。

参考資料：http://www.sk-solutions.org/movie/2005manabi_256.wmv

(平成17年度地域づくりグループ連携広域学習事業で実施した講座内容を基に「問題解決の羅針盤」として制作したプロモーションビデオ)

◇プロフィールに代えて

1947年山形市生まれ。1969年日揮(株)入社し30年勤務。

1999年日揮(株)を早期退職してUターン。2001年(有)SKソリューションズを設立。その後、ビジネスや産学官民連携支援、更には、CB推進コンソーシアム(PM)、(LLP)山形ふるさと企画舎(代表)、地域力共創推進コンソーシアム(代表)、NPO/パワーアップコンソーシアム(代表)を通じて地域活動を継続中。

詳細：http://www.sk-solutions.org/03sr_pro.html

*地域力共創推進コンソーシアムのアクティビティについては、次のWeb掲載資料を参照ください。

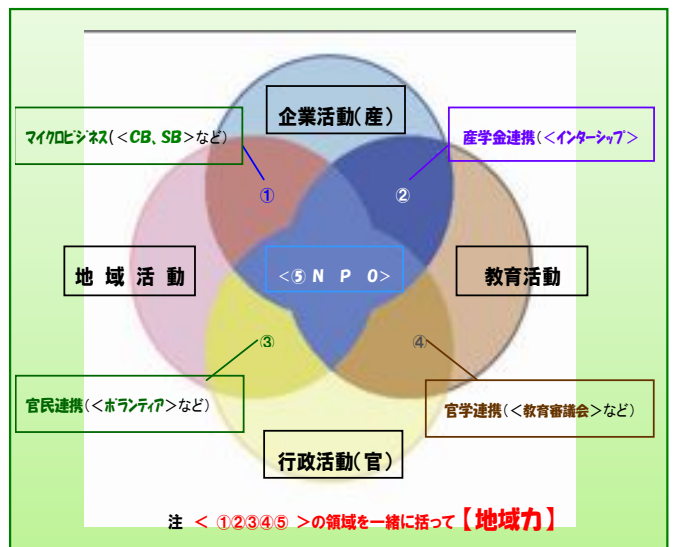
<http://www.yamagata1.jp/2299.html>

<http://blog.yamagata-npo-volunteer.net/~cb/>

*NPO/パワーアップコンソーシアムのアクティビティについては、次のWeb掲載資料を参照ください。

<http://blog.yamagata-npo-volunteer.net/~npo2009/>

<http://blog.yamagata-npo-volunteer.net/~management/>



《コア・リソース(核となる資源)》

- ハード(インフラ・設備・システム)
- ソフト(ハードの運用・活用のプロセジャー&しくみ)
- ひと(利用者:消費者&ハード・ソフトの運用者)

《コア・コンピタンス(核となる能力)》

- 合意形成確保のスキル
- 課題解決のためのスキル
- 事業遂行管理(プロジェクトマネジメント)のスキル
- アカウンタビリティ(プロセスのオープン化)の姿勢

◆産・学・官・民連携支援の現場から…
写真ア・ラ・カルト☆



◆人生の棚卸しとして、
「DVD 私的アンソロジー」を上梓しました

人生を四期(学生期・家住期・林住期・遊行期)に分けてみて、自身の60歳(林住期の途上)を契機に、それ以降の羅針盤(コンパス)としたいとの想いからDVDを制作したものです。

・そのプロローグはこちら <http://www.sk-solutions.org/anthology.html>

その収録内容は「写真」「著作・寄・投稿」「プレゼン&セミナー等資料」「映像・画像・音声」「新聞インタビュー記事」「主に携った事業資料」などで構成されています。このDVDは部数に限りがありますが興味をお持ちになられた方には謹呈いたします。(東北OMの発起人の後藤氏に1セット渡しております。)

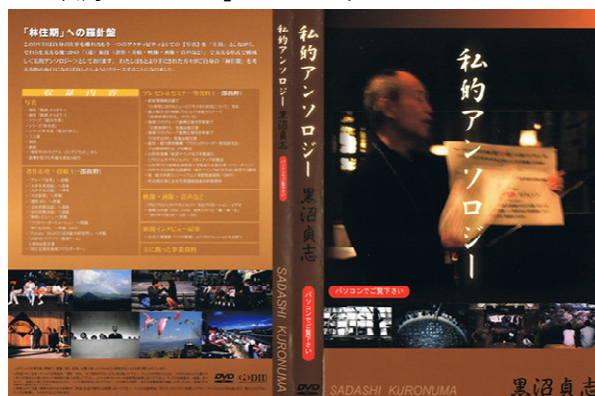
◆更なる高みへ!・・・東北OMに期待したいこと

いま!私が東北OMに期待することは、「更なる高み」、すなわち「OMの活動の成果がメンバーそれぞれのオンサイト業務に反映されるその道すじ」を確立して欲しいということです。

皆さんがOM活動の成果を活かして、一人の行政マンとして職場で行動される場合(内部からの改善)には様々なハードルが待っていることは想像に難くありません。

孤立するかもしれないオンサイト業務に活かし易くなるようなアクティビティやスキームを、このOMの活動を通して試行出来ないものだろうかと夢想したりしております。

▼「私的アンソロジー」のカバーです



K's Gallery

～My プライベート(人生を数倍楽しむ会「遊縁の衆」)～

地元の気心知れた仲間の月一回の集まりで人生を数倍楽しんでいます。

- ① 茶という時空を楽しむ
- ② 歌(短歌)に触れる
- ③ 写経で心を鎮める
- ④ 写真を素材に感性の感度を上げる

～作品帳から～

蛸にさそわれ集う 且坐の席 寺鐘も加わる 文月の暮
新幹線 車窓の先の 錦秋に 思わず止まる 弁当の箸
晴れの日の 友の陰膳 考える 娘のきずなに 想いを馳せる

= ベンチ @上野動物園 =

= レッスン @新宿御苑 =



連盟賞(横須賀写真連盟公募展1994)

神奈川県知事賞(横須賀写真連盟公募展1995)

大賞(神奈川報道写真連盟公募展1995)

▼My Best フォト (トップ 3)

= とまり木 @渋谷駅(モヤイ像前)=





9月3日、偶然にも秋田と仙台においてミニ勉強会が開催されました。

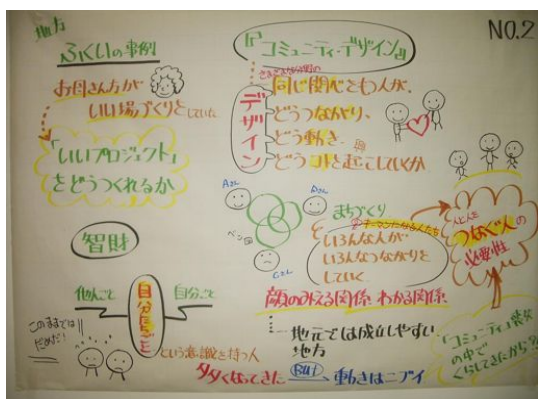
秋田では、7月の秋田勉強会を大成功に導いた秋田メンバーの皆さんのミニ勉強会。仙台では、盛岡市・仙台市の自主勉強サークルのメンバーを中心とした合同ミニ勉強会。

どちらのミニ勉強会も、東北OMのネットワークをきっかけに勉強会を開催(Act)し、勉強会を通し、互いに知識やスキルを共有(Know)することにより、それぞれの職場で活かしていく(Can!)。そんな充実した勉強会になったのではないのでしょうか♪ では、その模様を早速レポートしていただきましょう!

秋田プチ勉強会 押忍!こちらファシングラ道場

レポーター 東北OM@秋田 滝本 法明 さん

9月3日、アルヴェ(秋田市)市民交流サロンを会場に、記念すべき第1回目の東北OM秋田メンバーのプチ勉強会を開催しました。勉強会には、秋田メンバー9名が参加。同じ秋田メンバーである吉田理紗さんの進行により、「ファシリテーション・グラフィック」について学び合いました。このファシングラのポイントをご紹介します!



ファシリテーション・グラフィックとは

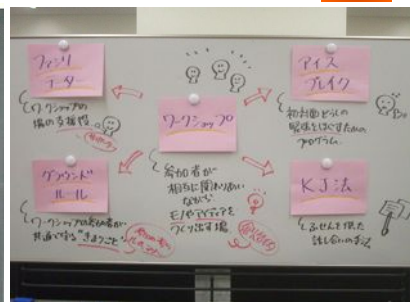
話し合いの内容を図や絵を取り入れながら即興で記録していく、新しいスタイルの板書!

ファシリテーション・グラフィックの5つの利点!

- 共通認識をもてる
- 安心感をもてる
- 発想を刺激する
- 客観的に見られる
- 記録に残る

必須アイテム!

- 模造紙
- 水性カラーマーカーセット
- セロハンテープか布ガムテープ
- ホワイトボード(ボードに書く場合はマーカーも)



ファシリテーション・グラフィックの5つのコツ!

- 要点をつかんで書く
- 発言者の言葉を活かす
- 話し合いの流れがわかるように書く
- 色をうまく使い分ける
- 空間をうまく使う

とにかく練習あるのみ!

書けば書くほど上手くなる。レッツビギン!

interview

◇By 滝本 法明 さん

視覚情報があると、思考が整理できて、合意形成しやすい!やはり、「聞きながら、書く」ことがとても難しい。職場の打ち合わせで、実践します!



◇By 漆畑 宗介 さん

話し合いの中で書いていくので、どうしても字が汚くなりがち...

師匠(吉田さん)のような見やすい字で、可愛いアイコンも加えて、話し合いを刺激するようなグラフィックを書けるようになりたいです。

あと、今度は飲み会に参加するぞー!!!



interview

◇By 中嶋 静香 さん

ボリューム、内容共に大変充実したものでしたし、野外授業、とってももりあがりましたね！変なオブジェを作ってしまったことが一番心残りです。皆さんの苦笑い忘れられません…

実践では文字の大きさ、ペンの使い分けなどなどまだまだ反省点ばかりでしたが、ファシングラに関してはとにかく実践ですね！

オブジェのセンスは二の次にして頑張ります。夜の交流会では、ついに児玉さんとAKB48踊る機会をいただき大満足でした。いつか秋田勉強会(AKB)メンバーも48人集まる日が来るといいですね！



◇By 児玉 寛希 さん

とても勉強になりました。ファシングラを使う機会は少ないですが、汎用性が高いスキルなので普段の仕事に活かしていきます。吉田先生、ありがとうございました。2次会カラオケでは、色々すいませんでした('A')調子に乗りすぎました(笑)。反省しています。そして静香さん、中途半端なAKBで申し訳なかったです。



◇By 戸嶋 悦子 さん(右)

とっても身になる勉強会でしたー☆リサ先生ありがとうございました！ファシングラ使いこなせるようになりたいな…♪



◇By 吉田 理紗 さん(左)

道場入門のみなさん、ありがとうございました。そしてほんとうにおつかれさまでした！反動で飲み会にははじけましたね(^▽^)

合同 miniミニ勉強会

盛岡市

id

-JAM

仙台市

Team Sendai

レポーター 東北OM@仙台 鈴木 由美 さん



必殺☆仕掛人 後藤さんに 見事に乗せられた♪

8月3日(土)の午後、東北OM盛岡メンバーと仙台メンバーとの初の合同勉強会を仙台で行なった。

開催のきっかけは、いつものように後藤さん。今までも、業務改善運動の伝道師である尼崎市の吉田さんの講演会や、5月に仙台で開催した震災復興チャリティイベントの事前勉強会など、Team Sendai(東北OMのメンバーも多数加入する仙台市職員の自主勉強会。)に数々仕掛けてくれた張本人だ。

今回は、盛岡市で開催する勉強会打合せを仙台で行なうので、せっかくだから仙台組と合同勉強会をしませんか？という一通のメールから始まった。見事乗せられたわけだが、これほど満足度が高い勉強会になるとは、想像だになかった。

互いの自主勉強活動について共有！

さて、勉強会は、仙台市と盛岡市の自主勉強会についての紹介で始まった。

仙台市の「Team Sendai」は、発起人である私が説明。職員が1万人近くいるのに、誰もが入れる職員の勉強会がない。ないならば自分で作ってしまえというのがきっかけであったこと、また、世の中、いろいろな人がいるわけだから、あえて、老若男女、さまざまな職種、職責の職員が入り乱れ…いや、入り混じる勉強会にしようと思ったこと、今後の課題などについて説明した。

盛岡市からは、代表の加藤さんが「id-JAM」について説明。月1回、勉強会を開催し、メンバーは30名ほど。読み応えのあるニュースレター「paper session」の発刊、毎回、1つの「お題」をもとに、全員が2～3分のスピーチを行なう「ショートスピーチ」、自分たちの業務を深く掘り下げて洞察発表を行なうなど、素晴らしい活動内容に聞き惚れた。



▲新川さん@横浜市(前)、佐山さん@柴田町(奥)

事例報告① 障がい者福祉系の業務を通してみる福祉の問題

次に、事例報告。

最初は、「障がい者福祉系の業務を通してみる福祉の問題」と題し、酒田市役所福祉課の國松真也さんが発表した。

國松さんは、福祉課で障害者自立支援法の関連業務やケースワークの業務を行っている。課内11名の職員で、取り扱うケースは平成21年度の1万8千件に対し、平成22年度は4万4千件まで膨れ上がっている。

しかも、国の法制度は、まるで猫の目のようにころころ変わり、通常業務に追われ、新規課題の整理ができない状態とのこと。

最後に、國松さんの座右の銘「自由と秩序は互いに矛盾する概念である」というローマ人の物語の紹介があった。



▲酒田メンバーがこっそり参加していたことを気づいた瞬間！サプライズ成功！

事例報告② 市民協働事業における ファシリテーションスキルの活用事例

次に、仙台市廃棄物管理課の中西百合さんから「市民協働事業におけるファシリテーションスキルの活用事例」についての発表。

中西さんは、区民まつりや選挙、ゴミに関する説明会など、市民協働に携わる用務暦は何と19年！ファシリテーションと出会いは10年前で、NPO活動の第一人者である加藤哲夫氏との出会いにより、さまざまな研修を行うようになったこと。

ファシリテーションスキルは、今後の行政運営にも大いに役立つと確信した。

事例報告③ 外部評価が問う内部評価のあり方

次に、盛岡市地域福祉課の佐藤俊治さんによる「外部評価が問う内部評価のあり方～岩手県県民協働型評価推進事業を通して～」と題しての発表。

内部評価に取り組んでも事業の改廃が進まない状況があるが、それは、手段の目的化やルーチン化が原因と言える。そういった意味からも、外部評価は非常に重要であり、今後も期待できるとのこと。

外部評価は、内部評価の課題克服のための処方箋ではなく、ツールとして「評価」を正しく理解し、活用することが大事だということを学んだ。

新たな繋がり・絆の芽吹きを実感！

勉強会終了後、お約束の懇親会が！

勉強会を追えてホッとしたせいか、はたまた、盛岡市メンバーとの初めての出会いに舞い上がったのか、夜遅くまで盛り上がった。また、栗原市の鈴木敬ちゃん、仙台市の太田千尋ちゃんの、懇親会の名物司会者二人組みに、「夜のファシリテータA&B」という新たな呼び名が命名され、その名に恥じない名ファシリテータ振りを早速発揮し、初参加の盛岡市メンバーを際立たせてくれた。(？)

さて、最後になるが、今回の勉強会には、多賀城市や柴田町など、近隣の東北OMのメンバーをはじめ、仙台市に復興支援で派遣されている横浜市や高崎市の職員、仙台市の若手職員など、さまざまな顔ぶれが参加してくれた。

勉強会の度に実感する“新たな絆”。今回もあちらこちらに芽吹いていたことを報告したい。



▲乾杯のご発声は盛岡市の加藤さん☆



▲高崎市の松田さんも参戦♪



▲夜はまだまだ長い！（二次会会場にて）あつ、後藤さん、携帯は忘れないように♪

事例報告④ ポートランドの住民自治について

最後に、日本財団が運営している「週末学校」のプログラムで、アメリカのポートランドを視察した後藤好邦さんから、ポートランドの住民自治について報告があった。

ポートランドは、住民自治の世界的な先進地であり、自治会組織であるネイバーフット・アソシエーション(NA)が地域に関する決定権を持ち、それを市がサポートする体制だという。

主役は住民であり、行政はあくまでも住民自治の環境を整える黒子。また、NAを支えるのは投票で選ばれたリーダーで、住民と市の仲介役や、地域の計画作りを行う際の中心ともなっている。

最後に、後藤さんから「公(おおやけ)」とは何か？という質問を投げかけられた。この質問は、週末学校の最初の課題だとのこと。

明確な答えは出なかったが、それぞれが考えるきっかけを投げかけてくれた。それにしても、週末学校って難しくて厳しい……。

interview

次は同じ業種の意見交換会もやってみたい！

東北OM@Team Sendai 柴田 恵美さん

盛岡市の活動はすごい！仙台市でも見習うところが多い。

これをきっかけに、仙台の今後の方向性を考えなければいけないと思った。

他自治体の事例を見ることは、仙台市の事業の見直しにも役に立とし、国松さんなどの事例を聴いていて、同じ業種の意見交換会など開催できればと思う。

後藤さんのポートランドレポートだが、もっと聴きたかった。海外の事例はそのまま日本に当てはめることは難しいと思うが、参考にすべきところはたくさんある。どうやったら取り入れられるのか考えてみたい。

事例発表を行なった中西さん、とても素敵だった。ファシリテーションについてもっと学びたい。

話は変わるが、国松さんに内緒で酒田チームが参加したサプライズが見事成功！こういう遊び心って大事だと思う。

東北OMの皆さん、相変わらずフットワークがとても良いと感心した。ミニミニ勉強会なのにこれほど人数が集まり、参加して本当に良かったと思った。

意見をぶつけ合い、歩み寄り、高め合っていく、
そんな“熱い”場に身を置くことができた！

東北OM@id-JAM 千代谷 晶子さん

地方自治体職員として、もう一歩踏み出したい、ステップアップしたい、そのようなシンプルな熱い思いのみで、若干趣旨を理解しないまま(汗)、盛岡のid-JAMリーダーの加藤さんたちに声をかけていただき、9月3日、盛岡・仙台合同勉強会に参加させていただきました。

まず、圧倒されたのが、OMメンバーの皆さんのエネルギー。

仕事以外では、つい「忙しい」など「できない」理由を探しがちですが、ここではそんな雰囲気は一切なし。発表者はもちろん、お互いの疑問や率直な意見をぶつけ合い、歩み寄り、高め合っていく、そのような「熱い」場に身を置くことができました。

夜の懇親会では、勉強会以上!?のエネルギー！正直、最初は茫然としておりましたが(笑)、夜のファシリテーターのお二人の抜群のMCにより、勉強会とはまた一味異なる「熱さ」を味わうことができました。

ありがとうございます。

来春には盛岡にて東北OM盛岡勉強会が企画されています。皆様のお越しを心からお待ちしております。

OMの 素材



№66 藪内 しずか Shizuka Yabuuchi

◆昭和48年3月19日生まれ(A型)

◆所属: 仙台市太白区役所
街並み形成課(5年目)

◆これまでの所属

仙台市都市整備局荒井開発事務所

→ 青葉区固定資産税課 → 宮城野区

建築宅地課 → 都市整備局住環境整備課 → 太白区街並み
形成課(現在所属)

◆好きなもの(趣味など) 雀踊り(「伊達雀」所属)、水彩画、Kiroroの
「未来へ」

◆参加している会など

東北OM、仙台市自主勉強会「Team Sendai」、(社)宮城県建築士
会など

◆家族構成 夫、義父母、長男、長女の6名家族

◆夢 みんな幸せになる(幸せの形は人それぞれ…。みんなちがって、
みんないい!ですね。。。)

◆これからやりたいこと 志と絆が繋がるネットワークづくり

◆コメント 震災以降、ずっと考えていることがあります。その答えはまだ
出ていません。東北OMや勉強会のメンバーの皆さんと交流することで、
元気をいただいています。どんなことでも、きっと乗り越えられる…。そう思
えるようになりました。

これからも、よろしくお願いいたします。

◆好きな言葉

「人とひととの「つながり」は、その人の財産である(元上司の言葉)」

「やればできる、必ずできる!(夢をかなえる勉強法(伊藤真著)より)



№68 佐山 亨 Toru Sayama

◆所属 宮城県柴田町役場 福祉課

◆1982年12月6日生まれ(いて座、B型)

◆経歴

宮城県柴田郡大河原町生まれ

H17年: 福島大学行政社会学部卒業後

柴田町役場入庁(現在7年目)

◆趣味など

食べること…東北はお米が美味しいですね。いつも「白いご飯」に合
うご飯のお供を探しています。ラーメンめぐりとかも好きです。

星を見ること…東北は星がきれいですね。特に学生時代を過ごした
福島(浄土平とか)なんて最高ですね。

◆一言 今年5月の仙台での勉強会にて始めてOMの活動に参加し、
その後、数回しかOM関連のイベントには参加していませんが、OMで出
会う方誰もが「高い志」と「あふれる情熱」をもっている方ばかりなので、
毎回「元氣」と「やる氣」をもらっています。

自分も周りにそんな影響を与えられる人になれば最高ですが…。こ
れからもイベントにはどんどん参加していきますので、今後ともどうぞよろ
しくお願いします。



№65 榊 亜衣理

Airi Sakaki

◆所属: 八戸市役所総務部行政改革推進課
公務員生活、9年目。教育委員会に3年在籍し、
その後はずっと現在の課にいます。

◆趣味: 映画鑑賞や読書をしながらお酒を飲んで
まったりする、朝市巡り、旅行。

(昨年から有志で地酒愛好会を結成し、いいかげんな事務局長をし
てます。)

◆性質: B型の典型的なマイペース人間

◆コメント

皆さん、改めましてこんにちは! 以前、ポर्टランド研修の報告をさせ
ていただいた榊です。今回、自己紹介の場をいただき、大変光栄です。

今年は、一念発起し、東京財団の週末学校に研修生として参加し、
青森と東京を往復する生活を送っています。仕事と勉強の両立は思っ
た以上に大変(睡眠時間が激減…)でしたが、とても素晴らしい講師陣
や研修生との出会いが財産となっています。

皆さんご存知の後藤好邦さんとは同期生として一緒になったのがき
っかけで、東北OMを知り、入会させていただきました。

いつもメールリストやニュースレターなどを通して、皆さんの活発な
やり取りを拝見し、とても刺激を受けています。

どうぞよろしくお願いいたします。

№67 相馬 由寛

Yoshihiro Soma

◆生年月日 1978年2月25日

◆所属 福島商工会議所
事業推進部経営支援課

◆出身 青森県青森市

◆経歴

2001年3月福島大学行政社会学
部卒(半年間 中国河北大学へ語学
留学)

2001年4月福島商工会議所入所
後、企画開発部に配属になり、福島
わらじまつりをはじめとするお祭り・イ
ベントなどを通じた地域振興に携わる。

入所3年目に福島商工会議所青年部の事務局担当となり、若手経営
者から起業家精神を学ぶ。その後、ふくしま屋台村の設立から運営、民
間への委託まで携わる。

2008年4月から経営支援課に配属となり経営指導員として中小企業相
談所で経営相談の業務に携わる。

◆好きなもの「羊」

羊を食べるのが好きです。特に中国の羊の串焼き羊肉串、生ラムジ
ンギスカン。羊で町おこしが夢です。

◆モットー 「過去と他人は変えられないが自分と未来は変えられる」

◆東北OMについて

福島在住で青森出身の私にとっては東北人という想いが強い。そのよ
うな中で東北を活動範囲としている東北OMの活動には共感しています。
東北OMを通じていろんな東北人と出会えることを楽しみにしております。

また、東北OMのメールリストでは福島応援隊メールを定期的に発信
させていただいております。福島で開催される様々な活動をご紹介させ
ていただきますので、興味があるイベント等がありましたら、是非福島にい
らっしゃってください。

11月12日の福島勉強会でお待ちしております。



OMの 素材



№70 松本 浩和 Hirokazu Matsumoto

- ◆1978年3月27日生
- ◆所属：岩手県金ケ崎町役場
- ◆経歴：金ケ崎病院医事係
税務課賦課係(国税税・軽自動車
税→固定資産税→個人住民税)
生活環境課消防交通係
介護福祉課(介護保険→医療費
助成・後期高齢者)
財政課財政係
岩手県庁市町村課(地方債担当)へ派遣
財政課財政係
総合政策課職員係兼政策係(給与・第三セクター)

◆趣味

武家町(角館や弘前)や宿場町(福島の大内宿)等の「伝統的建造物群保存地区」を中心とした歴史的まちなみ巡り
(金ケ崎町は伊達藩の藩境、武家町の面影が「城内・諏訪小路地区」が登録されていますので是非おいで下さい)

◆ひとこと

薄〜く広〜く仕事をしてきた結果、「つで、結局何してきたの?」とふと思った30歳の誕生日。ちよつぱり人事もかじるようになり「当たり前」の仕事を通じてこんなことの難しさと重要性を感じ始めた今日この頃。
そんなこんなでいまだ軸が定まらない私ですが、OMの皆さんとの交流を通じて少しずつ成長していきたいと思いますので、よろしくお願いします。



№69 大波 司麻 Shima Onami

- ◆所属：福島県土木部土木企画課
- ◆出身：福島県南会津郡南会津町。
1974年2月生まれ
- ◆経歴：新潟大学卒業、建築技師として福島県庁採用。既に16年目。
最近は都市計画・部の政策企画等、建築らしい仕事からすっかりご無沙汰です。(建築にちゃんと帰れるのか、かなり不安であります;;)。

◆ごあいさつ

福島県、おおなみします！
皆さま、どうぞよろしくお願いいたしますします。

え〜、最近のお若い方はほんとと素晴らしい。新採の頃の自分を思い返すと恥ずかしいばかりです…。

それでも無理矢理？思い返すと、講演会から飲み会まで、どういふ訳か「人の話を聞く」場には積極的に？何となく？数多く参加してきたような。「そんな考え方もあるんだ」をたくさん聞いてきたことが、「ほんのちよつとだけ踏み出してみよう」「そういう仲間を探そう！」と、福島市の鈴木潤さんの「デジャバリの会」それから東北OMへ、参加する心の動きになってきたように思います。

だから、東北OMには、その敷居の低さを大事にして、本当に皆さんが好きなように関わられる場でいて欲しい。また、そんなお手伝いが出来ればなと思っています^^

さて、11月は福島勉強会です！

震災から半年以上が経ちますが、福島はずっと、「ひとりひとりが、何を選ぶか」葛藤の中にいます。実は今の福島で開催すべきを含め、福島メンバーでも本当に悩みました。

でも、特に福島以外のメンバーからの「福島をいまと一緒に感じたい」という思いが、開催の背中を押して下さいました。

ぜひ、ホコリその他に気をつけていただきつつ、今のふくしまを等身大で感じていただければと思います。福島メンバー一同、お待ちしております！

I love ふくしま(はあと)、We love 東北☆



申込みはお済みですか？

第4回ミニ勉強会 & いも煮会

今回のミニ勉強会では、OMメンバー4名の方から事例報告をいただくほか、ファシリテーションについて学びたいと考えております。

今回の目玉は、事例報告からファシリテーション教室まで、ミニ勉強会全体を通してファシリテーションに触れられる仕掛けが施されている点です。ぜひこの機会にファシリテーションに触れてみてはいかがでしょうか。

また、翌日にはOM秋の恒例イベントである「山形のいも煮」を開催します。締切間近となりましたので、思い立ったら即後藤さん@山形市へお申込みを！



勉強会

日時 10月8日(Sat) 12:30~17:00

会場 山形市『遊学館』(山形県生涯学習センター)

内容 12:30~13:10 オープニング
13:10~15:20 事例報告(OMメンバー:4名)
15:30~17:00 ファシリテーション教室

※勉強会の会費は500円です。また、勉強会終了後、恒例の懇親会ももちろん行なわれます！

いも煮会

日時 10月9日(Sun) 10:00~

会場 山形市 馬見ヶ崎河川敷
(山形市民プール ジャバ集合)

※会費は2,000円です。

いも煮も旨いですが、締めのカレーうどんは絶品です！秋の山形の風物詩と一緒に堪能しましょう☆